一般質問

※【問】の記事は、質問議員が作成しています。

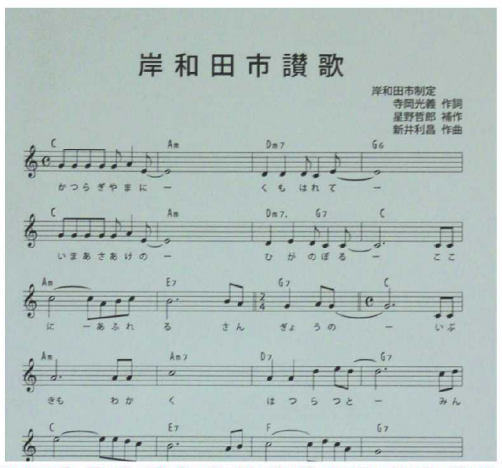
岸和田市讃歌で郷土愛の育成を

西村　芳徳　議員

その他の質問
○小中学校の緊急時の対策体制の構築
○下水道料金の一部分流地域における違法徴収の処理

【問】本市は真に地方分権を担える自治体となるために、規範となる自治基本条例を定めた。この条例には、郷土のすばらしさを認識し、愛し、市民・事業者・行政が協働することの大切さがうたわれている。

本市では、市民との協働で昭和47年に郷土を愛する心をはぐくむすばらしい岸和田市讃歌が作られている。この歌を岸和田市歌と位置づけ、小・中学校で教えるとともに、市の行事やイベントで歌い、普及させることが重要であると考えるがどうか。



【答】本市では、だんじり祭を核とした地域社会のまとまりが強く、郷土に寄せる思いには、根強いものがある。

しかし、郷土を愛する心をさらに大きく、確実なものとしていくためには、自らの生まれ育った郷土の歴史や文化をしっかりと理解し、それを継承・発展させる取り組みが重要である。

その手法の一つとして、岸和田市讃歌の普及は有効と考えている。

今後は市制施行の記念式典で歌うだけでなく、市の行事などでの使用を中心に検討していく。

市民との協働で美しいまちを

池内　矢一　議員

【問】地域の環境問題として、ごみの不法投棄が課題となっている。これまでも防止対策に取り組んでいると思うが、依然として不法投棄が見受けられる。

本市の不法投棄の現状と対策について聞きたい。

【問】市有建造物への落書き・破損は全庁的問題と考える。実際、どのような被害があるのか。本市の状況と対応、啓発について聞きたい。

いざ出陣！夜間パトロール

【答】平成20年度に、環境部と建設部に寄せられた不法投棄事案だけでも300件以上あり、大半が産業廃棄物であった。

対策としては、警察や大阪府などと連携し、夜間パトロールを行っている。また、多発地点に監視カメラを設置し、刑事告発を行うなど、不法投棄の抑止を図っている。

さらに、地元町会などと連携し、これまで以上に防止対策を強化していく。

【答】公民館駐車場の塀への落書き、学校の窓ガラスの破損、自動車での当て逃げなどの被害がある。

事案が発生するたびに、警察へのパトロール強化の依頼、啓発看板の設置、職員による見回りの強化などの対策を講じている。加害者には弁済を求め、き然とした対応を行っていく。

行財政再生プラン早急な見直しを

雪本　清浩　議員

その他の質問
○危機管理

【問】きしわだ行財政再生プランの実施から、2年が経過したが、当初の見込額と現在までの効果額の状況について、また、平成21年度当初予算における効果見込額と再生プラン作成時の効果見込額の比較、および21年度当初予算と財政推計との比較について聞きたい。

納税課に新設のコールセンター

【答】19・20年度は、概ね再生プラン通りに推移している。

21年度は、再生プランのなかで実施する予定であったごみの有料化など、当初予算に反映できていないものがあり、歳入歳出合わせて約10億円の減額となっている。

また、財政推計では、約13億円の黒字を見込んでいたが、当初予算では逆に3億円の基金を取り崩すこととなり、約16億円のかい離が生じている。

【問】21年度は大きな収支差が発生すると予想される。これを埋めるためには、財政基盤の確立および財源の確保に対する取り組みが必要と考えるがどうか。

【答】市税のさらなる徴収率の向上を図るとともに、産業誘致の推進など新たな税収の確保に努める。

また、未利用地の売却促進や資産の有効利用を図る。

厳しい経済情勢中小企業の支援強化は

米田　貴志　議員

その他の質問
○クールアース・デー

【問】現下の厳しい経済情勢にかんがみ、本市の中小企業支援策を点検し、もう一歩掘り下げた施策を展開すべきと考えるがどうか。

【答】従来の産業振興戦略プランの推進施策を行うとともに、融資などの支援体制の強化については、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用した中小企業対策を検討している。

また、連鎖倒産を防ぐ経営セーフティ共済制度の掛金助成については、有用性などを早急に検討したい。

【問】就学奨励費の受け付けが始まっているが、この厳しい社会情勢のなか、申請者数の増加が予想される。もれなく援助されるようすべきと考えるがどうか。

【答】本市の財政は非常に厳しい状況であるが、就学奨励費は、経済的理由で就学困難な児童・生徒の保護者を援助する施策であり、生活保護基準の一・一倍という受給認定基準を堅持し、制度の継続に万全を期したい。

【問】産業の活性化、低炭素社会の実現に向け、太陽光パネル設置に補助制度を設けるべきと思うがどうか。

【答】民間住宅への太陽光発電の導入促進のため、国が1キロワット当たり7万円を助成している。本市でも複数年の補助実施について協議していきたい。

地元企業を応援

春木駅連立高架化事業着手の見通しは

鳥居　宏次　議員

【問】春木駅連立高架化事業の計画・設計の経費は平成7年から5年間で7千万円、事業用地取得には16億円が投入され、その利息が3億8千万円にも上り、早期の取り組みが必要である。

踏切問題を抜本的に改善するため、春木駅連立高架化事業をどのように取り組むのか聞きたい。

【答】この高架化事業は、安全・安心で快適なまちづくりを進めるうえで、重要な事業であると認識しているが、現状では長期的に取り組むべき課題であると考える。

【問】競輪事業は昭和25年開設以来、市の財政に595億円を繰り出し、貢献してきた。しかし、春木駅周辺のインフラ整備が実現していない。繰出金の一部を春木駅周辺整備に投入すべきと考えるがどうか。

再建に向けて（岸和田競輪場）

【答】周辺環境を効果的、総合的に整備・保全するため、対策協議会を立ち上げるとともに、基金を設け、施設整備の事業費を一部助成してきた。

まず、競輪事業再建プランによる経営改善を行うとともに、新たな繰出金の使われ方については、庁内合意が必要と考える。

第3回定例会予定

傍聴される人は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。10時開会予定。

▼8月31日（月）	本会議	
▼9月　1日（火）	本会議	
▼9月　3日（木）	文教民生常任委員会	
▼9月　4日（金）	事業常任委員会	
▼9月　7日（月）	総務常任委員会	
▼9月　8日（火）	本会議	
	決算特別委員会	
▼9月　9日（水）～14日（月）	決算特別委員会	
▼9月16日（水）	本会議	

※日程は、一部変更される場合があります。